

田園調布
この人
豪ノ山関

武隈部屋所属現役大相撲力士

——昨年6月に高校の同級生と結婚されましたが、生活面で一番嬉しい変化は？

「家に帰ると電気がついていて帰りを待っている人がいる事が、独身時に比べて嬉しい気持ちになります」

——奥様の手料理で好物は？

「手料理なんでも美味しいです！」

——オフの日はどう過ごされることが多いですか？

「オフは、たいてい治療など体のケアに充てています」

——もし相撲の世界に入らなかったとしたら、どんな仕事をされていたでしょう？

「小さな頃から力士になりたいくてやってきたので、他の仕事は考えた事がないです」

——雪谷に移られて3年余り。この地域にどんな印象をもたれていますか？

「雪谷大塚はすごく住みやすくて



良い所です。街を歩いていても声をかけてくれみんなが応援してくれているのがすごく嬉しいです」

——何か地域の方にメッセージをお願い致します

「いつも応援していただきありがとうございます。もっと皆さん

に楽しんで相撲を見ていただけるように頑張ります。これからも応援よろしく願いします」

(調布大塚自治会 増沢和美)

PROFILE ●豪ノ山登輝

1998年4月7日生まれ。大阪府寝屋川市出身。小学4年次から「全日本小学生相撲優勝大会」等に3年連続で出場。相撲の強豪校埼玉栄高校に相撲留学を果たし、中央大学4年次には学生選手権で個人準優勝。2021年3月場所初土俵、2022年1月場所に7戦全勝で幕下優勝。同年7月場所新十両昇進。2023年7月場所新入幕。最高位は前頭二枚目。

武隈部屋後援会はこちら



新自治会長 紹介



田園調布二丁目自治会
吉田富一 会長

高木知常前会長の後を受け、4月26日付で会長に就任。前職：副会長(5年前～)

地域教育連絡協議員(現)

趣味・特技：料理

抱負：「持続可能な自治会組織」を目標とし、当面の社会情勢に合わせた新しい形の自治会運営に取り組みたい。

編集委員会 委員構成 (2025年4月改選)

副編集委員長	古田中武彦	(地域力推進田園調布地区委員会)
	増沢 和美	(調布大塚自治会)
	稲垣 芳隆	(田園調布一丁目東自治会)
	染谷 優子	(田園調布一丁目清交会)
	三輪 順子	(田園調布親睦会)
編集委員長	平山 智恵	(田園調布二丁目自治会)
	加藤 厚子	(一般社団法人田園調布会)
	三島 通利	(田園調布親和会)
	落合 雅子	(田園調布西町会)
	出口 清孝	(田園調布協和会)
	野呂瀬季見子	(民生委員児童委員協議会)
	清原きょう子	(青少年対策地区委員会)
	西田 友子	(田園調布小学校 PTA)
	—	(調布大塚小学校 PTA)
	町 啓介	(田園調布中学校 PTA)

でんえんわがまち HP
(カラーで見られます)



受賞のお知らせ

大西 晃 氏

大田区交通安全功労者推薦

令和7年度
防災市民組織等感謝状贈呈者

【市民消火隊員 40 年】

田園調布一丁目東自治会

・齊藤 一郎 氏

・肥田 經憲 氏

【市民消火隊 10 年】

調布大塚自治会

・佐久間 雅章 氏

・柴野 晃男 氏

・砂押 歩 氏

田園調布一丁目東自治会

・稲垣 芳隆 氏

編集後記

このたび編集委員に新たに加わりました。地域では日々さまざまな活動が行われており、どれもご紹介したいものばかりです。

編集会議では、その中から特に皆さまに知っていただきたい情報を厳選してお届けしていることを会議に参加して実感しました。

地域への深い愛情を持つ先輩方とともに活動できることを、とても心強く、誇らしく感じています。

これからも、読んで楽しく役立つ紙面づくりを目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(田園調布小学校 PTA
西田友子)

わがまち情報 (7 月～ 10 月)

2025 年
7 月 21 日 (月)～7 月 27 日 (日)
田園調布西町会ラジオ体操

10 月 18 日 (土)
田園調布フェスティバル

10 月 19 日 (日)
第 18 回 田園調布
グリーンフェスタ



発行 地域力推進
田園調布地区委員会
編集 でんえんわがまち編集委員会
事務局 田園調布特別出張所
大田区田園調布1-30-1
TEL 03-3721-4261
http://www.city.ota.tokyo.jp/

田園調布西町会 住民アンケート実施報告

○アンケート配布・回収方法

・役員、組長でポスティングを実施

・回答は WEB、郵送（同封の返信用封筒）

・アンケート実施期間は
2024年10月25日～
11月8日

・配布1335部 回収302
(控え含め)

・西町会の会員は918名、非
会員は417名

町会活動で重要だと思う活動
(複数回答)

	回答数	割合
防犯活動	275	84%
防災活動	256	78%
子どもや高齢者の見守り	166	51%
地域美化・緑化活動	156	48%
高齢者・要支援者へ助力	134	41%
住民の親睦と交流促進	126	39%
行政への働きかけ	123	38%
地域に関する情報発信	104	32%
交通安全活動	92	28%
他団体との連携	22	7%
募金活動	19	6%
その他	9	3%
回答数	327	

全住民に対して、「住みよい街・住みたい町」を目標にしたアンケートを実施しました。

アンケートの実施にあたっては、東京都つながり創生財団「自治会・町会応援キャラバン」事業を活用して集計方法の支援を受けながら町会で実施しました。

多くのご意見を頂き、問題解決に取り組んでまいります。そのためには町会員の協力が必要となるため、サポーター登録を実施したところ、48 名の方々が手を挙げて頂きました。

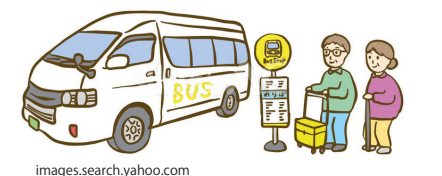
理事、サポーター、町会員とコミュニケーションを図り、町会の運営に取組んでまいります。

あなたが今感じている生活上の困りごと (複数回答)

	回答数	割合
周辺にお店がなく、買い物が不便	206	68%
ごみの散乱やポイ捨て、ペットの糞尿	104	34%
近くに公共交通機関(バス・電車)がなく不便	99	33%
災害のときにどう対応すればいいかわからない	96	32%
街灯が少ない	60	20%
困ったことがあったときに、誰に相談すればいいかわからない	53	18%
地域や町会に関する情報が入ってこない	27	9%
地域に知り合いや話す相手がない	16	5%
その他	39	13%
回答数	302	

交通状況の改善に関して希望すること (複数回答)

	回答数	割合
町会員が乗れるコミュニティバスの導入	190	61%
乗り合いタクシーの導入	102	33%
その他	30	10%
現状で特に問題ない(改善の必要なし)	80	26%
回答数	312	



○アンケート結果

・防犯、防災の啓発を町会として実施していく

・個別意見、要望、アイデアに関する記述が 101 件あり、住民の期待の大きさが解った

(田園調布西町会会長 落合 稔)



避難所となる体育館では、消灯して非常用電源を使用した「リアルな停電時の状況」を体験した。この非常用電源は約8時間程度利用できるという。

3月8日（土）午後、田園調布中学校にて「防災教室」を開催しました。ボランティアの方を含めると50名以上の方が参加されました。

ネットやSNSなどの媒体で告知した結果、遠くは大森地区からの参加もありました。

また、防災は家族皆で考える趣旨から乳児やお子さん連れの参加も印象的でした。

第一部は「防災を身近に」をテーマとした備蓄に関する講義。冷蔵庫やアウトドア用品など、主催者からは日常使うものを利用することで、防災を身近に感じる事が防災対策の秘訣と、話がありました。また、災害時における情報取得の大切さを大田区防災アプリを使って解説がありました。

第二部では会場の外に出て、電柱の上の大きなラン

スや、切りたった崖の大木など、普段あまり気が付かない災害時の危険箇所や、消火栓や消火器、AEDの設置箇所など災害時に必要な施設の箇所を、実際に目で確認しながら、自分で防災マップを作成しました。

第三部では地震大国と呼ばれるイタリア等、他国の避難所の実態がスライドを使って紹介され、能登半島地震の際の状況と比較しながら、日本の現状の厳しさを改めて実感しました。最後は会場の体育館の照明を落とし、停電時の状況が再現されましたが、備えてある非常用電源はフル充電で非常用照明が約8時間点灯可能との事でした。

今後の課題
今回はアプリを使った避難



二次元コードを読み込み、所属自治会や家族構成など必要な情報を入力すると、瞬時に集約され、対策本部ではエクセルの表として確認する事ができる

所受付を試験的に実施しましたが、実際の災害時を想定すると、従来の手書きによる受付では避難者が殺到して混乱を招くので、それに代わるシステムの検討が必要かと思われます。

また、電動車椅子の利用者には、体育館への出入りに大きな問題がある事が浮き彫りになりました。

今回のイベントでは、資料提供や携帯トイレの実演、「街歩き」での案内役などで、大田区防災支援ボランティア調整センターを始め、様々なNPO団体の協力がありました。また、今後は災害時において最も懸念されるトイレ事情を考え、携帯トイレの普及により一層力を入れていきたいと思っています。

（田園調布二丁目自治会 会長 吉田富一）

田園調布中央病院が本年1月に移転したばかりのためレイアウト、動線や医療従事者のフォローなどの課題は残りましたが、今後の改善に期待したいと思います。

（編集委員 三島通利）

田園調布せせらぎ公園 せせらぎ館 その後



囲まれた堀から開放され駅と一体化したようなになった田園調布せせらぎ公園

田園調布せせらぎ公園せせらぎ館（文化施設）は2021年の供用から4年経ちますが、1階のロビー（休憩スペース）で熱心に勉強している高校生などで満杯になっているようです。では昨年11月にオープンの通称せせらぎアリーナ（田園調布せせらぎ館（体育施設））はどのような状況でしょうか？

4月から6月頃までの間を対象に両施設の利用状況を調べてみました。概ね利用は共に高く、文化施設の利用は【朝型】、一方、通称せせらぎアリーナは【夜型】という傾向が見られました。

せせらぎ館（文化施設）

1階奥の第一多目的室A/B（各60名、計235㎡）、午前の予約は約100%、午後も80%以上の利用率で、夜間のみ約60%程度の利用です。2階集会室（1～4）は各50㎡24名定員です。時間帯午前、午後とも90%以上の利用が定着し、夜間のみが50%と、空きのあることが分かりました。

通称せせらぎアリーナ（1階）体育室

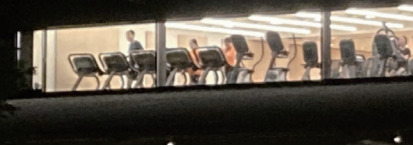
約800㎡の体育室は半分での利用も可能です。時間帯と利用料は表の通りです。

時間帯別の利用状況は、午前および午後1が65%前後、それに対し午後2は約80%、夜間はほぼ100%でありました。勤め人にとっては仲間と集まりやす

い夜間の練習には最適でしょう。料金9,800円もあり高額とは思っていないかも知れません。

トレーニングルーム（2階）

昼間、夜間とも広く利用しているようです。



ところが来年（2026年）4月から1回400円（税込）に値上になるというから驚きです。これは、大田区民プラザ、ライフコミュニティ西馬込、大森スポーツセンターと共通料金のためです。回数券等も有効期限内ならば差額の70円を追加すれば利用可能とのことです。

（編集委員長 出口清孝）

ました。

その「V」とは、「この雨水桧や集水桧には何回目かの昆虫抑制剤が投与されている」という印（しるし）でした。

昆虫抑制剤の投与は、5月から始められ8月までの間、月1回の計4回投与されるもので、桧桼には4個の「V」の字が縦に並びます。

第一多目的室 A/B の利用時間帯・料金

	時間帯	料金
午前	9時～12時	¥3,000
午後	13時～17時	¥5,400
夜間	18時～22時	¥5,400

体育室 A/B の利用時間帯・料金

	時間帯	料金
午前	9時～11時30	¥8,000
午後1	12時30～15時	¥8,000
午後2	16時～18時30	¥8,600
夜間	19時30～22時	¥9,800

トレーニングルームでは毎回利用時に入室・退室時間を記入します。部屋にはウォーキングマシンをはじめ、筋力トレーニングの器具が25台もそろっています。

高齢者には向いていない器具のように見えますが、男女各1名ずつの係員が丁寧に器具の使用方を説明してくれます。

自分に合った強度や使用時間が設定できるので、試してみたい器具を選びながら体調にあった調整ができます。

3時間滞在でき、窓からせせらぎ公園の樹々や子供連れの親子が散策しているのを見ながら運動できる素敵なトレーニングルームです。ストレッチのビデオも流れているので好きな時に利用でき、毎週火曜日と金曜日には定員7名の無料レッスンが受けられます。フレイル予防のためにも続けて利用したいと思いました。

体脂肪率や上半身下半身の筋肉量が測れる体重計も備えられているので、自分の体質も知ることもできます。

（編集委員 平山智恵）

大田区全域では対象となる桧が約65,000あるために、保健所ではシルバー人材センターに240人のお手伝いをお願いしています。

今夏も猛暑になるかもしれません。暑い中、薬剤投与の為に歩いていらっしゃる方々に「お身体に気を付けて」と一言お礼を申し上げます。

（編集委員 三輪順子）

道端の白いVマーク？



昨年の夏、道端の雨水桧に「V」とチョークで書いている人がい